

特集

看護職が専門性を発揮できる 環境をつくるために

多職種協働時代における IT の活用(仮)

電子カルテやオーダーリングシステム、医用画像管理システム、さらにはバーコードによる認証などさまざまな IT が現場に導入されている。多職種協働が進むなかで時差なくデータが共有できるなどの利点がある一方で、それらが現場において最適化されているかという、課題も残る。

今後ますます看護職の専門性を発揮することが望まれるなか、看護管理者は看護師がベッドサイドでのケアに専念できる環境を整えていく必要がある。医療安全、記録、計画など、多職種の協働が進められるなかでの業務の最適化という観点から、看護管理者が現場で直面している問題の所在と、問題提起、解決の方法を提示する。

- 多職種協働を支える IT 瀬戸僚馬
- 短期的に実現可能な IT の活用 鎌田智恵子
- 現在進んでいる技術と、長期的な展望 保坂良資
- 在宅との連携に活かす IT 秋山昌範

[新連載]

- しなかやに家族を看護するスタッフに育てよう

山崎あけみ

[特別記事]

- 地震、台風、新型インフルエンザなどの自然災害発生時に組織のトップとして何ができるか——兵庫県看護協会の災害時の取り組み
大森綾子／小田美紀子／安部陽子／大澤清美
- 平成 24 年診療報酬・介護報酬同時改定における「看護必要度」に関する改定の概要と今後の課題
筒井孝子
- 看護管理者のための改定の読み方入門 3——がん対策・緩和ケアと認知症
奥村元子

編集後記

●アメリカという国は、とにかく個人の主張が強く個人主義の国だと言われています。ですが、スポーツの世界に目を向けてみると、意外とチーム競技が大好きで、これがめっぽう強い。そして、彼の国の人々が最も愛するスポーツといえばアメリカンフットボール。このスポーツ、完全に個々の役割分担（ボールを蹴る人、投げる人、それを捕る人、持って走る人など）が決まっています。自分の専門を全うすることでチームメイトの信頼を得、そのお互いの信頼関係がチームをまとめていく。なんだか、チーム医療の世界とかぶって見えます。かく言うアメリカはチーム医療の先進国。やはりチームを成熟させるには、まずは個人を磨くことありきだなあ、と思う次第であります。（金子）

●本日はじめて、トカゲがしっぽを切るところを実際に見ました。蜥蜴の尻尾切りという言葉もあるくらいですから、何かあったときには自ら尻尾を切って逃げることはもちろん知っていました。しかし、実際に見てみるとまた新鮮な驚きがあります。小さな草原で遊ぶことが多い人にとっては何を今さらという話かと思いますが、経験している人やそれが日常の人にとっては当然のことでも、知らない人にとっては新鮮なことはたくさんあります。また、知っているということと体験することということにも大きな違いがあります。今後病院と在宅の連携を強化していくなかでは、診療所であれ、訪問看護ステーションであれ、ぜひ実際に現場を見に行っていきたいと思えます。（西窪）

看護管理 第 22 巻第 6 号
2012 年 6 月 10 日発行（毎月 1 回 10 日発行）
発行 株式会社医学書院
代表者 金原優
〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23
Published by IGAKU-SHOIN Ltd.
1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo
©2012, Printed in Japan
定価 1575 円（本体 1500 円＋税 5%）
2012 年年度予約購読料
冊子版 18450 円
冊子＋電子版／個人 21450 円
冊子＋電子版／共有 24300 円
電子版／個人 18450 円
電子版／共有 21300 円
（いずれも税込、送料弊社負担）
『看護管理』編集室（担当 金子、西窪、早田）
TEL03-3817-5777 FAX03-5804-0485
E-mail kangokanri@igaku-shoin.co.jp
http://www.igaku-shoin.co.jp
●定期購読のお申し込み先／医学書院販売部
TEL03-3817-5659

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は、（株）医学書院が保有します。

【JCOPY】（社）出版者著作権管理機構委託出版物）
本誌を無断で複製する行為（複製、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。複写される場合は、そのつど事前に（社）出版者著作権管理機構（TEL03-3513-6969 FAX03-3513-6979 info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。
本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された [0917-1355/12/¥250/論文/JCOPY] は、1 論文 1 回複写につき 250 円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCOPY へのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

●「読者の声」を募集しています。

職場などでの感動的なエピソード、困っている問題、また弊誌への感想をお寄せください。掲載者には粗品を差し上げます。
E-mail kangokanri@igaku-shoin.co.jp
twitter http://twitter.com/kangokanri